

# とやま産学官金交流会2010

## 開催の趣旨

地球環境に関する認識の高まりに応じて産業に投げかけられる厳しい要求や中進国・途上国に起きている激しい変化と日本の各方面への影響等、様々な面での大きな変化をみると、今世紀に入り10年にしてやっと新世紀の牙が見えてきた感があります。県内産業もこのような大きな変革に着実に対応し、柔軟に生き残っていくため、他社・他国にない固有の先端技術を確立するための経営戦略が大切であると言われます。

上記のような大変革期に際し、企業は従来に増して社会のあらゆる力を活用し技術開発を進めることが必要です。そのためには、産学官金連携をイノベーション創出の能動的プラットフォームとして構築し直し、有機的に連携しながら連鎖的な成長を図る努力が、産学官金それぞれに求められます。

とやま産学官金交流会2010では、今後の産学官金連携と企業経営との関わりを様々な面から取り上げます。ポスターセッションも新しいシーズが豊富です。多くの方のご来場をお待ちしております。

## 基調講演

演題

### 「ホンダDNAを継承して海外事業に挑む」～中国事業立ち上げの経験を例に～



講師  
門脇 轟二氏

1965年 本田技研工業入社。欧米など海外畑を歩み、98年に広州汽車と合併設立した広州本田汽車有限公司の総経理就任。2000年には外国人として初の広東省労働模範に選ばれる。07年より桃山学院大学客員教授。

最近の円高傾向の中で、日本企業の国際化への取り組みの議論がかしましい。しかし、このテーマは戦後日本経済が復興から発展の過程で言われ続けて来た事であり、何も今に始まった事ではない。

ホンダは創業後間もない1952年には「日本だけを相手にした日本一は真の日本一ではない。世界一であって初めて真の日本一となり得る」として当時世界で最も過酷なTTレースへの参戦を

宣言、爾来「世界的視野に立って——」を社是に標榜して、最も困難な目標に向かって常にチャレンジをして発展して来た。1959年に設立したアメリカンホンダも、「アメリカこそホンダの夢を実現できる主戦場」「商社に頼らない自前の販売網の確立」を目指したものであり、「You meet the nicest people on a HONDA」キャンペーンも、より長期的な観点からの市場創造を念頭に置いたものであった。

私がホンダに入社した1965年は、まだ創業者のお二人は現役であり、真近でその警咳に接する事が出来た。私の40年に及ぶホンダ人生の内、約25年間はベルギーを皮切りにアメリカ、カナダ、中国と海外での仕事であり、そうした経験を通じて、私なりに海外で仕事をするにあたっての心構えを整理、何時か機会があればこの考え方を具現化してみたいと考えていた。

- ～ 1. その国を冷静に見つめ、好きになる事
- ～ 2. その国の人と目線を合わせ、一緒に仕事をする事
- ～ 3. 自分の考えをしっかりと持ち、信念を貫く事（朝令暮改にならない事）
- ～ 4. 短期的に結果を求めるのではなく、中長期的観点で、お客様にとって何がベストかで判断する事

私達が海外で仕事をする場合の考え方の起点は、ホンダの創業者、本田宗一郎、藤沢武夫、お二人の考え方をベースにしたホンダフィロソフィーにある。

これらをいかに現地の人たちと共有し、具現化して行くかが、企業経営の原点である。

中国における4輪事業の立ち上げは、社会・政治体制が大きく異なっている事、50対50の合併事業である事もあり、色々な困難に直面したが、大変チャレンジングな仕事であり、私なりの考え方を具現化するいわば集大成と言えるものであった。

結果的には、私と共に駐在した大ベテランの技術屋達の率先垂範の「三現主義」「三不主義」に基づく頑張りもあり、皆さまから成功と評価頂ける様な業績を残す事が出来た。

私達のやってきた事は、何も特別な事ではない、常にお客様の視点に立って、基本的な事を誠心誠意、愚直に粘り強く進めて来た事ではないか。日中の従業員が心をついに信頼関係を深め、ベクトルを集中すれば思いもかけない力を発揮するのを目の当たりに見たように思う。

## プログラム

開会式 13:30～13:40

基調講演 13:45～15:00

ポスターセッション 15:05～15:45 (常設 12:30～17:30)

県内の高等教育機関、公設試験研究機関、企業の技術シーズおよび産学官金連携による研究・技術開発の成果などを一堂に展示します。最近の研究陣の若返りや多様化と、企業の開発意欲の高まりを反映して、様々なシーズやマッチングの成果が示され、研究者・開発担当者と共にやりとりすることができます。

分科会 16:00～17:30

セッション

### A 「ものづくり企業の技術戦略と産学官金連携」

座長：政 誠一氏 / (株)北熱 代表取締役  
副座長：西井 克己氏 / (株)迅(はやて) 技術経営 代表取締役  
パネリスト：荒木 貢氏 / 城西ニット(有) 代表取締役  
水島 昌徳氏 / (株)オーギャ 代表取締役  
竹川 直人氏 / (株)北陸銀行 金融公金部 副部長

趣旨 産学官連携で成果をあげている企業の経営陣を主体に、企業経営の中で技術・研究開発や産学官金連携の占める位置、進め方の要点等について討議します。

セッション

### B 「企業技術者育成における産学官連携～次世代を主導する中核技術者の育成に向けて～」

座長：升方 勝己氏 / 富山大学 地域連携推進機構 副機構長  
副座長：久保 浩一氏 / マイクロジェニクス(株) 取締役・JRM(株) 生産統括部長  
パネリスト：村上 哲氏 / アイシン軽金属(株) 専務取締役  
角崎 雅博氏 / 富山県工業技術センター 機械電子研究所 所長  
城石 昭弘氏 / 富山大学名誉教授 産学連携部門

趣旨 次世代の中核的企業技術者の育成が重要課題となる中、地域企業と官学が連携した取り組みを紹介し、人材育成における産学官の連携のあり方を討議します。

セッション

### C 「アンチエイジング～医薬品・食品の開発および健康関連産業の活性化～」

座長：榊 利之氏 / 富山県立大学 工学部 生物工学科 教授  
副座長：大野 正廣氏 / 廣貫堂(株) 取締役  
パネリスト：上馬場 和夫氏 / 富山大学 和漢医薬学総合研究所 客員教授  
浦田 哲郎氏 / 医療法人ホスピアー 浦田クリニック理事長

趣旨 超高齢化社会を迎え、いつまでも若く健康でありたいという願望に答えるための食品・医薬品の開発や健康関連産業の活性化における産学官連携の重要性について討議します。

情報交換会 17:50～19:30

さまざまな分野から参加される皆様の、情報交換と懇談の場を設けます。

会場 / 富山国際会議場 1F 交流ギャラリー等  
参加費 / 3,000円 (一般)、2,000円 (学生) ※当日受付にて申し受けます。